

2. えべつ未来戦略推進報告書の見方

戦略1 ともにつくる協働のまちづくり

○戦略名
4つある戦略の名称を記載しています。

○計画期間
戦略の期間を記載しています。

計画期間 平成26年度～平成30年度

○部局
戦略を推進するうえで、主管となる部と関係する部を記載しています。

○部局
戦略を推進するうえで、主管となる部と関係する部を記載しています。

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿
●市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくり
●大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進ん

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名称	決算額		
	H26年度	H27年度	H28年度
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,643 千円	3,996 千円	
1 B 大学が活躍するまちづくり	2,920 千円	3,779 千円	
計	8,563 千円	7,775 千円	

○戦略プロジェクト事業費の推移
戦略を構成する事務事業の合計を、プロジェクト毎に記載しています。戦略を構成する事務事業のうち、他の戦略と重複するものについては、()で記載しています。国の緊急経済対策に伴い、H27年度の事業費をH26年度補正予算で前倒した事業は、備考欄に記載しています。

○成果指標
戦略プロジェクトの進み具合を数値で測ります。

○初期値ほか
初期値はH25年度を記載しています。
H26年度以降の欄は、毎年度の実績値を記載していきます。

多様な主体が協働するまちづくり
業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめ、経験・知識等を活かし協働するためのネットワーク・人づくりに取り組むことで、協働の気になります。

○目標
戦略の計画期間中に達成をめざす数値を記載しています。

◆成果指標 1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23.1	21.7					35.0

◆成果指標 1 A-2 協働のまちづくりが実現していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38.7	36.8					50.0

○26年度の動向・改善案
戦略プロジェクトごとに、H26年度の成果動向（評価）と次年度に向けた改善案を記載しています。

■成果動向（評価）

個別事業では一部を除きほぼ予定どおりに進捗していますが、成果指標は1 A-1・1 A-2ともに初期値から横ばい傾向となりました。成果指標を目標に近づけるためには、個別事業において、より効果的な内容に見直すほか、新たな事業の構築を検討する必要があると考えています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

協働のまちづくりを進めるため、平成27年10月から施行する「市民参加条例」に基づき、市民参加の機会の充実を図るとともに、市民周知を進めていきます。また、協働に関する出前講座を引き続き実施するほか、協働を担う人材の発掘・育成につながる事業を重点的に実施します。

◇推進プログラム1A-① 協働によるまちづくり

<課題>

- 市民参加・協働に係る制度の
- 協働に関する意識の向上

○課題

プログラムを推進していく上での課題を記載しています。

<取組の概要>

- ・市民参加条例の制定
- ・小学生に向けた協働意識者への波及効果

○取組の概要

左欄の課題を解決するための取組の概要を記載しています。

事務事業	指標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備考
市民参加条例制定事業	制定された条例の本数	0本	1本	本	
	事業費	625千円	109千円	千円	
協働を知ってもらう啓発事業	リーフレット等配付枚数	2,370枚	2,200枚	枚	
	出前講座参加者数	2,073人	1,943人	人	
	事業費	1,149千円	466千円	千円	

○事務事業

推進プログラムを構成する事務事業を記載しています。

他の戦略と重複する事業については、重複先のコードが記載されています。

○各事務事業の指標と事業費

推進プログラムを構成する事務事業の成果指標と各年度の決算又は当初予算額を記載しています。

事業費のうち()は、他の戦略と重複するものです。同一の戦略内で事業が重複する場合は、1つのプログラム分のみに記載し、他は「-」としています。

○備考

国の緊急経済対策に伴い、H27年度の事業費をH26年度補正予算で前倒した事業は、その金額等を記載しています。

事業統合や廃止した場合は、その旨を記載しています。